

➡ いきがい交流センターしみず 24年度 事業報告 ➡

◇概要◇

- 設置主体 松山市
- 運営主体 松山市社会福祉協議会
- 協力団体 清水地区社会福祉協議会、清水地区民生児童委員協議会
- 目的 学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消および心身機能の維持向上を図るための「生きがいデイサービス事業」等を実施し高齢者福祉の向上に資する。
また、福祉、教育等関係機関との連携のもと、松山市民、特に清水地区を中心とした城北エリアに居住、活動する方々の主体的運営による福祉、文化、レクリエーション等の学習及び相互扶助実践を通して福祉・学習コミュニティの形成と融合を推進する地域福祉の拠点とする。

生きがいデイサービス「友遊しみず」

- 対象者 市内在住の方で介護保険を利用していない概ね65歳以上の方
- 開催日時 月・木曜日の10時～15時（祝祭日・年末年始を除く）
- 内容 健康チェック、軽スポーツ、創作活動、俳句、野外レクリエーション
児童との交流授業や昼食交流、楽器「トーンチャイム」演奏活動
- 運営スタッフ 活動援助員（1人）、看護師（1人）、介助員（4人）、協力会員（2人）
※協力会員 45名でシフトを調整。介助員は年度毎に協力会員から選出される。
- 登録者数 22人（男性1人、女性21人）
- 平均年齢 全体 79.7歳
- 延利用者数 1,364人 ※開催回数 89回



トーンチャイムの練習



児童と昼食交流

シニアライフ講座／シニアサポート講座

市内在住の60歳以上を対象とした講座として「シニアライフ講座」「シニアサポート講座」を開催。

- シニアライフ講座・シニアサポート講座……………講師：各種専門機関、専門家、NPO活動者など
脳の病気、認知症や認知症の人の付き合い方、介護保険や高齢者施設、成年後見制度、遺言や財産の整理、介護をする家族のメンタルヘルスなど、シニアライフに役立つ講座を開催。

<シニアライフ講座 【9回講座】>

- 対象者 市内在住の60歳以上の方で全講座受講可能な方
- 受講者数 27人（男性6人、女性21人） ※応募総数27人
- 延受講者数 194人

<シニアサポート講座 【9回講座/選択制】>

- 対象者 市内在住の高齢者を支える家族や地域住民
- 受講者数 48人（男性11人、女性37人） ※応募総数48人
- 延受講者数 182人



伊予山の辺の道を歩こう



健康ストレッチ体操

<参 考>

◎趣味講座のOBによる「生き生き火曜会」の発足

平成 14 年～21 年度にかけて趣味講座として「絵手紙」「手織り」「パソコン」「知って得するシニアライフ講座」「シニアライフ講座」を開催してきたが、その受講者OBに呼びかけ、今年度7月に43人が参加して趣味講座についての意見交換会を行った。そのうち 25 人が、21 年度開催の「シニアライフ講座」の内容の企画に関わった。

その後、年度と講座を越えて出会えた仲間との交流を大切にしながら、生きがいつくりのための活動をしたいと、21 年度 12 月に「生き生き火曜会」を発足(人数は現在 40 人)。21 年度内は準備期間として「いきがい交流センターしみず」を拠点として活動した。

22 年度より、活動拠点を松山市総合福祉センターや地域の施設に移し、軽スポーツや勉強会などを月に 1 度のペースで自主的に行っているが、自主活動後も相談などのサポートをしている。

清水小学校児童との交流事業

小学校との複合施設であることの特徴を生かし、地区社協関係者・「しみず」の利用者など、地区住民と児童との交流授業に積極的に取り組んでいる。高齢者と児童が交流することで、相互に「生きるエネルギー」や「やさしさ」の交換を行い思いやりの気持ちが育まれている。 ※下記の写真タイトルは単元のテーマ

※他校生徒、大学生などとの交流も行っております。

- 交流回数 31 回
- 延べ人数 2,200 人(児童、教職員)
- 内 容 総合的な学習、国語、社会科、生活科、音楽会、6年生ありがとう集会、卒業式 など



1 年生 「なつとあそぼう (七夕飾り)」



2 年生 「みんな大好きおいもパーティー」



3 年生 「古い道具と昔の暮らし」



4 年生 「ふれあおう心と心」



5年生 昼食交流会



6年生 最後の交流会

しみずサポートボランティア

若者(学生・社会人)のボランティア。平成17年より活動しており、児童の見守り活動をはじめ、「しみず」を利用する高齢者や地域の方々と児童との交流の橋渡し役として活動をしている。「しみず」や清水小学校で開催するイベントの支援も行い、清水地区社協関係者や利用者の方からも、「しみず」に新しい風を吹き込む存在として期待されている。

また、ボランティアセンター職員、しみず職員のコーディネートにより、各種施設等のイベントや、他施設での継続的な活動へも広がりを見せている。

- 登録者数 10人(松山大学生、社会人)
- 活動日数 70日
- 延べ活動者数 158人



自主企画「バクバク人形作り」



あさがおの種採集 地域の方へプレゼント

平成24年度 いきがい交流センターしみず 利用者数

事業名	人数
生きがいデイサービス	1,364
シニアライフ講座・シニアサポート講座	376
ふれあい教室	3,350
市社協事業、地区社協会議等	638
その他	
・清水小学校児童との交流事業 等(31件)	2,200
・視察、実習、取材など(6件)	263
・清水地区社協役員等による業務(200日)	1,200
・第10回いきがい交流センターしみず祭	500
・清水小学校児童との昼食時間と昼休みの交流 (昼食交流 270人、昼休み 101人)	371
・しみずサポートボランティアの活動(70日)	158

合計 10,420人

《その他の事業》

ふれあい教室

清水地区在住の 60 歳以上の方を対象とした教室。ふれあいを大切にし、地区住民同士の助け合い活動につなげている。教室は、「コーラス」「太極拳」「フラダンス」「絵手紙」「茶道」「英会話」「カラオケ」「民謡」「書道」の9教室を開催。夏休みには「夏休みわくわく企画」として、清水小学校の児童の体験講座を実施。

- 開催回数 263 回
- 延べ人数 3,350 人(男性 354 人、女性 2,996)

清水地区社会福祉協議会との連携

当センターのコミュニティールームに、清水地区社会福祉協議会の事務局が設置されており、地区社協の日常業務やミーティングなど地域福祉活動の拠点として活用している。

また、当センター職員は、第4ブロック（清水・味酒・雄郡・新玉地区）の地区担当となっているため、地域福祉サービス事業の実施や福祉講座の開催など、様々な地区社協事業についても支援させていただき、地域福祉活動を実施している。

清水小学校における総合的な学習の時間の場面でも、ゲストティーチャーとして参加するなど、積極的にご協力いただいている。

また、県内外からの視察に対応していただき、それぞれの事業説明を行いながら、情報交換や交流を図っている。



3 年生 「清水じまん探検隊」の授業



視察対応の様子

松山市地域包括支援センター城西・勝山との連携

市内 10 ヶ所に開設されている地域包括支援センターのひとつが、平成 21 年度より同じ校舎の 1 階に開設され、地域福祉の拠点としての機能がさらに拡充されるとともに、清水地区の社協関係者や民生児童委員をはじめ、当センターの利用者やその家族にとっても、気軽に相談できる機関となっている。22 年度より地域福祉課（当センター）職員が、包括支援センターの担当範囲と同様に、第4ブロック（清水・味酒・雄郡・新玉地区）の地区担当制をとることとなったため、同ブロック地域の課題を地域包括支援センターと共有し、地区での新たなインフォーマルケアの創出や充実のため連携を深めている。